

リハ医療サービスの目標

急性期リハ
回復期リハ

短い入院期間で寝たきりを予防し、ADL（日常生活行為）を向上し、家庭復帰を推進すること。

維持期リハ

寝たきりを予防し、自立生活及び介護負担の軽減を支援し、在宅生活のQOLを向上すること。

急性期リハ→回復期リハ→維持期リハのシステム整備

高齢者リハビリテーション研究会報告

(2004年1月)

- ・ 急性期リハビリが不十分
- ・ 長期間にわたる効果のないリハビリ
- ・ 医療から介護への不連続なシステム
- ・ リハビリとケアとの境界が不明確
- ・ 在宅のリハビリが不十分

診療報酬

介護報酬